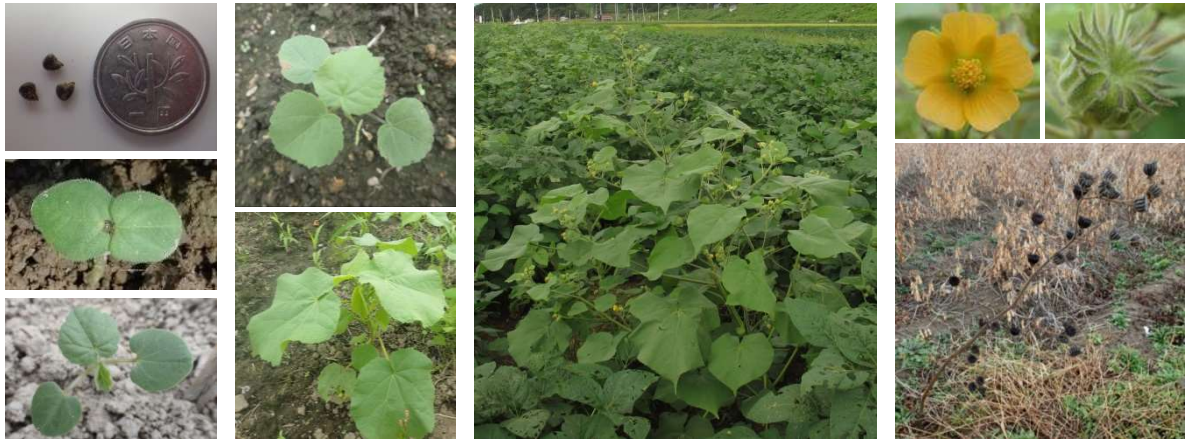
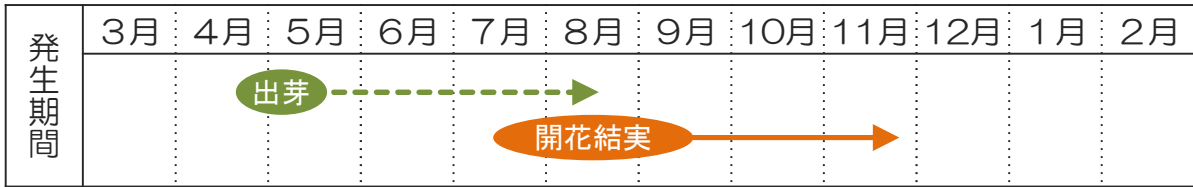


イチビ

アオイ科、一年生



インド原産だが、北米の輸入穀物の混入から雑草化したものがほとんどである。大型化し、夏期には黄色い花を咲かせる。本県の大豆ほ場で広く発生が見られ、局地的に多発している。



形態的特徴	<p>葉身はハート型で大きく、毛が密生し、葉柄は長い。茎は直立し、毛が密生する。花は2cm程度で黄色く、花弁が5枚ある。果実は熟すと黒くなり、1片に多数の種子が含まれている。草高は1mを越える。</p>
生態的特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・出芽深度は大きく、出芽期間も長い。 ・土中の種子寿命は20年以上との報告がある。
化学的防除法	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌処理剤: 効果は劣る。 ・大豆バサグラン液剤(全面): 効果が高いが、生育の進んだ個体には劣る。処理後の日照時間が極めて少ない場合に効果が低下する。 ・アタックショット乳剤: 効果は高い。
耕種的防除法	<ul style="list-style-type: none"> ・侵入初期に徹底的に手取り除草する(根は直根で抜取りは比較的容易)。